

講演・シンポジウム

## ゲイト・キーパーとしてのTOM(こころの理論)

自閉症スペクトラムにおける発達に「マインド・ブラインドネス」が及ぼす影響

フランチェスカ・ハッペ教授 (キングスカレッジ・ロンドン)

2015/07/21 (火)

時間 14:30-17:30 会場 九州大学貝塚文系地区・教育学部会議室

【来聴歓迎・予約不要】

【使用言語：英語】



自閉症スペクトラム研究を世界的にリードする研究者のひとりである、フランチェスカ・ハッペ教授 (キングスカレッジ・ロンドン、発達心理学、認知神経科学) が来日される機会に、九州大学でのミニ・シンポジウムを開催します。ハッペ先生は現在、キングスカレッジ・ロンドン精神医学研究所のMRC 社会・遺伝・発達精神医学センターのセンター長を務められ、国際自閉症学会の前会長でもあります。九州大学人間環境学研究院において現在進めている関連領域の研究を2つの短いトークで紹介し、ハッペ先生に講演していただいた上で、全体のディスカッションをおこないます。

### Schedule:

- 14:30-15:00 Developmental and evolutionary origins of empathetic systems.  
Kazuhide Hashiya (Kyushu Univ.)
- 15:00-15:30 Towards an understanding of developmental trajectory of social cognition:  
Typical development and autism  
Wakako Sanefuji (Kyushu Univ.)
- 15:50-16:50 "Theory of mind" as a gatekeeper and the developmental effects  
of "mind-blindness" in ASD .  
Francesca Happé (King's College London, UK)
- 16:50-17:30 Discussion

主催：九州大学大学院人間環境学研究院 人間科学部門・心理学講座

共催：文部科学省科研費新学術領域研究「共感性の進化・神経基盤」

問い合わせ：橋彌和秀 [hashiya@mindless.com](mailto:hashiya@mindless.com)